

留 学 報 告 書

記入日：2018年6月27日

氏名	氏名：石津 寛子
留学先国	タイ王国
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) シーナカリンウィロート大学 (英) Srinakharinwirot University
留学期間	2018年1月～2018年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2018年6月10日
明治大学卒業予定年月	2020年3月

留学費用項目	現地通貨(バーツ)	円	備考
授業料	0	0円	協定留学のため
宿舍費	15000	51000円	良いコンドミニアム
食費	22000	74800円	
図書費	0	0円	
学用品費	900	3060円	制服など
教養娯楽費	0	0円	
被服費	1500	5100円	予想以上に購入
医療費	0	0円	
保険費	188100	63950円	大学で加入
渡航旅費	71470	243000円	
雑費	1200	4080円	
その他(電気代)	2250	7650円	
その他(水道代)	450	1530円	
その他(交際費)	80000	272000円	旅行など
合計	382870	726170円	

渡航関連

渡航経路	1月5日 羽田→スワンナプーム 1月7日 スワンナプーム→羽田 1月9日 羽田→スワンナプーム 6月10日 ドンムアン→成田		
渡航費用	チケットの種類		
	往路	140000	
	復路	93000	
	合計	243000	

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
スカイキャナー	
滞在形態関連	
種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
condominium	
部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数： ）
住居を探した方法	
先輩・友達の紹介	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
家を借りる前に2か月分の家賃に相当する前金を現金で支払わなければならないことを考慮してお金の準備をすることをお勧めします。虫や臭いなどの問題はたとえ良い condominium でもあるので、借りる前にきちんと自分の目で確かめてから借りることをお勧めします。もし前金を支払ってしまったら、たとえ何らかの理由で部屋や condominium を変更したくても難しいということも覚えておくといいと思います。	
現地情報	
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input type="checkbox"/> 利用した；	
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
シーナカリンウィロート大学には学内に明治大学アセアンセンターがあるのでそこで相談しました。日本人の先生や日本語を話すことができるタイ人の先生も常駐しているので安心です。	
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
日本大使館に在留届を出しました。デモの集会が開催される予定日にちや時刻の情報を得ることができたので、外出する際に意識することができました。実際にデモ隊と遭遇したり犯罪に巻き込まれはしませんでした。ただ、傘を一度置き忘れて手に戻っては来ませんでした。紛失物は戻ってこない可能性のほうが高いので、貴重品は特に気を付けて管理しましょう。	
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？ 例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは、WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。	
部屋には Wi-Fi がありませんでした。共同スペースにはあったので必要な時はそこで利用しました。携帯電話は現地の SIM カードを購入して利用しました。	
現地での資金調達はどうに行いましたか？ 例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録しないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。	
海外の ATM でお金をおろすことが可能な三井住友銀行のデビットカードを利用して資金調達をしていました。また、クレジットカードも併用しました。	

現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

リセッシュ・ファブリーズなどの消臭・抗菌スプレー。ほとんどの日本の製品がタイで手に入るが、上記のものは見つけることができませんでした。汗をかくので、靴や布団などすぐ洗えないものに使用しました。常備薬。

進路について

進路

就職 進学 未定 その他：3年

進路決定の際に参考にした資料、図書、期間など

3年の秋学期からまた明治大学での学習を始めます。卒業後は就職を考えていますが、まだ企業研究なども始めていないので、これから尽力します。

就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）

就職活動中・終了時に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。

例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。

進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）がありましたらお書きください。

その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
11 単位（4 科目）	<input checked="" type="checkbox"/> 9 単位（4 科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）
以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	EASTERN CULTURE AND LANGUAGES
履修した授業科目名(日本語)	
科目設置学部	
履修期間	2 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Mr.Chan
授業内容	日本、中国など東アジアの文化や歴史を学ぶ授業。英語での講義ですが、先生は明るい性格で日本語も少し話せるので助かりました。
試験・課題など	Edomode を使用して課題を提出。課題の内容は、次週の授業の内容を調べてくるものが多いです。
感想を自由記入	中間・期末試験がありましたが、トリッキーな問題も多かったです。先生がとにかく面白い方でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	LISTENING AND SPEAKINGⅢ
履修した授業科目名(日本語)	
科目設置学部	
履修期間	2 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Mr.Johnson
授業内容	英語の発音や言い回しなどを先生の配るプリントに沿って学ぶ授業。グループワークもたまにあります。
試験・課題など	紙の試験はありませんが、2 人組を作り先生の前で英会話を行う試験が中間・期末ともにありました。毎週の宿題はありませんでしたが、プレゼンがたまにあるので準備が必要でした。

感想を自由記入	20名ほどの少人数の授業なので先生と学生の距離が近く、アットホームな雰囲気です。学ぶことができました。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	LANGUAGE USE
履修した授業科目名(日本語)	
科目設置学部	
履修期間	2学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いてください)
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Mss. Kulsirisawad
授業内容	謝罪や招待の方法など、実用的な英語を効率的に学ぶことができる授業。読書の時間もあるのでリーディングもできます。
試験・課題など	紙の試験はありませんが、定期的に発表や作文の課題があるのでその課題の得点に応じて評価が決まっています。先生の前で英会話を行う試験が期末試験です。
感想を自由記入	先生はアメリカでの留学経験もあるそうなので、タイ訛りの英語ではなく聞き取りやすい英語でした。メリハリのある授業でした。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	WATER COLOR PAINTING
履修した授業科目名(日本語)	
科目設置学部	
履修期間	2学期
単位数	2
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いてください)
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	実技
授業時間数	1週間に210分が1回
担当教員	Mr. Chan
授業内容	各週先生の課すテーマを水彩画で描く授業。先生が全員の前で一度最初から最後まで描き方を教えてくれるので、初心者でも大丈夫でした。
試験・課題など	試験はありません。また、各水彩画の提出日も最終授業日までなので、時間はたっぷりありますが、溜めすぎに注意です。
感想を自由記入	もともとタイ語での授業でしたが、英語の話すことができるタイ人の友達が一緒に履修してくれて、理解することができました。先生もたまに英語を使って説明してくださったので助かりました。

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関して発生した事項を記入してください。（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2017年 1月～3月	チャレンジ！毎日学べる実践英会話（和泉）を受講（通年）
4月～7月	チャレンジ！毎日学べる実践英会話（和泉）を受講（通年） TOEFL の講座を受講（春学期）
8月～9月	チャレンジ！毎日学べる実践英会話（和泉）を受講（通年） タイに駐在していた明大OBの方に会ってお話を聞いた。
10月～12月	12月：テスト日や別の課題へ変更を行った。ビザを作った。
2018年 1月～3月	1月：タイについてから履修を決めた。コンドミニアム、ケータイを契約した。 2月：部屋の虫駆除を頼んだ。インターンを始めた。 3月：中間テスト。ビザの更新をしにイミグレーションセンターへ行った。
4月～7月	4月：ソクラーン祭りの関係で学校がたくさん休みになった。 5月：期末テスト。友達と旅行。
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>もともと高校生の頃から、国は決めていませんでしたが大学では留学しようと思っていました。大学1年生でアメリカへ短期留学をした際に、短期では留學生活に慣れてきた頃に帰国することになってしまうことに気が付いたので、大学2年生では長期の留学をしようと決めました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学のためにした準備としては、第二外国語であるタイ語の授業を復習したことです。また、しておけばよかったと思うことはタイ語と英語の語学力の向上です。意思疎通はできても深い話や難しい話をするときには語学力が必要なので、留学前により向上できていればよかったと思いました。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>大学に入ってから第二外国語でタイ語を選択したことをきっかけに、タイへの関心が高まりました。協定校でタイの大学に行けることを知ってからは成長を続けている国であるタイの学生と共に学びたい気持ちが膨らみ、留学しようと決めました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>大学は都市バンコクの中にあるオアシスのような雰囲気でした。大学の中央には大きな芝生のグラウンドもあり、学生の憩いの場となっていました。学食も様々な料理を取り揃えており、飽きることはありませんでした。学生の雰囲気は皆フレンドリーですが、初めは積極的に自分から話しかけることが大切だと思います。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>大学の寮ではなく、コンドミニウムを契約して一人暮らしをしていました。タイの中でも良いコンドミニウムを選んだので、毎月の賃貸料は通常のコンドミニウムよりも高価でした。しかしその分セキュリティも完璧で Wi-Fi 付きの学習スペース、プール、ジムもあったので、安心して充実した生活を送ることができました。</p>
<p>交友関係</p>	<p>留学当初は日本語の話せるタイ人の友達しか作ることができませんでしたが、積極的に話しかけたり一緒に遊びに行くことを重ねていくうちに、英語でコミュニケーションをとるタイ人の友達もたくさん作ることができました。友達の実家へお泊りに行くほど親密な友達もでき、帰国後も交流を続けていきたいと思っています。友達からのお誘いは断らないというマイルールが半年間でも親友と呼べる友達ができたと秘訣だと思います。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>枠にとらわれず、様々な学部の授業を履修しました。授業が始まる前は先生やクラス雰囲気が分からないので不安でしたが、幸い私の選んだ授業は全て私にぴったりのアットホームなものが多かったのですぐに慣れて学習を進めていくことができました。友達も協力してくれたので発表も楽しむことができました。明治大学のどの学部でも履修不可能な水彩画の授業を履修できたこともいい経験となりました。</p>

<p>課題・試験について</p>	<p>課題や試験は授業によって異なりました。紙の試験では授業内容を暗記する必要がありました。また、発表系の試験ではクラスメイトと協力してプレゼンを作ったり、質問される内容を予想してどのような回答をしようかあらかじめ考えておく必要がありました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>日系企業でのインターンを3か月間行いました。実際に社会人の方と働いてみて学校では学べないようなことを学ぶことができました。営業の電話架けなど将来役立つ貴重な経験をすることができました。</p>
<p>ある平日のスケジュール</p>	<p>8時：起床，9～12時：インターン，13～16時：授業，17～20時：自由時間・友達と夕食，21時：帰宅，22～23時：学習，24時：就寝</p>
<p>ある休日のスケジュール</p>	<p>9時：起床，10～12時：洗濯・掃除，13～15時：学習，16～22時：友達と遊び・夕食，23時：帰宅，24時：就寝</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと</p>	<p>語学力が足りないことなど不安はあるかと思いますが、まずは挑戦してみることが大切だと思います。挑戦していなければ、私がタイで手に入れたかけがえのない友達や素晴らしい経験も得られないままだったからです。毎日を無駄にせず、一歩ずつ自分の留学への夢に近づいていってください。応援しています！</p>

留学中の様子

